

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 987 号	氏名	阿部 太輔
学位審査委員	主 査 弦本 敏行 副 査 蒔田 直昌 副 査 田中 克己		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ (COMT) およびドパミンレセプターD2 (DRD2)、ドパミンレセプターD3 (DRD3) の3つの遺伝子の一塩基多型と競泳選手の競技力の関係性を検討したもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 男子競泳選手 57 名を対象とし、世界水泳連盟 (FINA) の定める FINA ポイントを競技力の指標とし、各遺伝子の一塩基多型との関連性を検討したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、COMT におけるバリニン型ホモ (Val/Val) 群よりメチオニン型を有する群 (Met carrier) の方が有意に FINA ポイントが高く、競技力が高いことを明らかにし、今後のスポーツ医学的研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文はスポーツ医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。			